

平成29年度「岩手県子どもの読書状況調査」集計結果

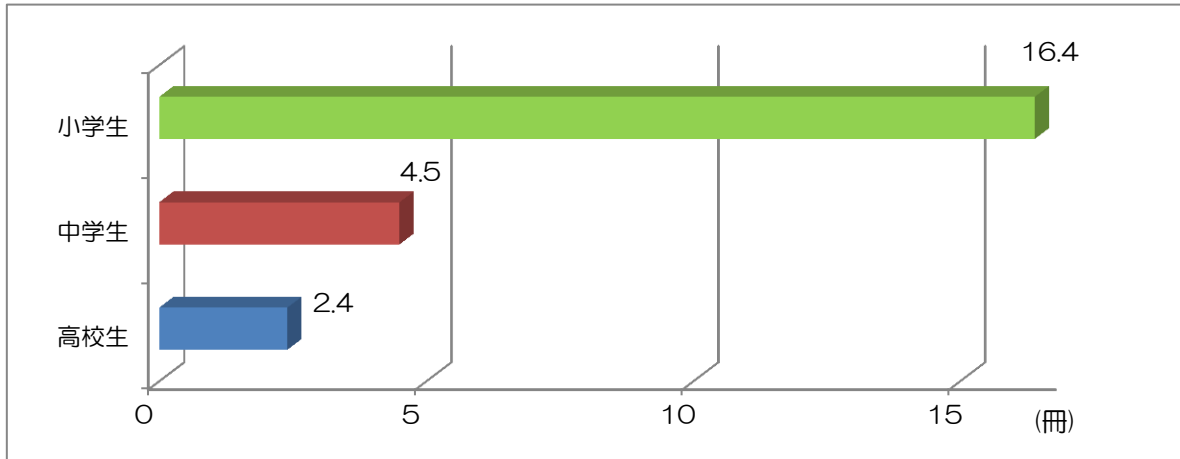
<調査の概要>

○調査対象期間：平成29年10月1日～31日

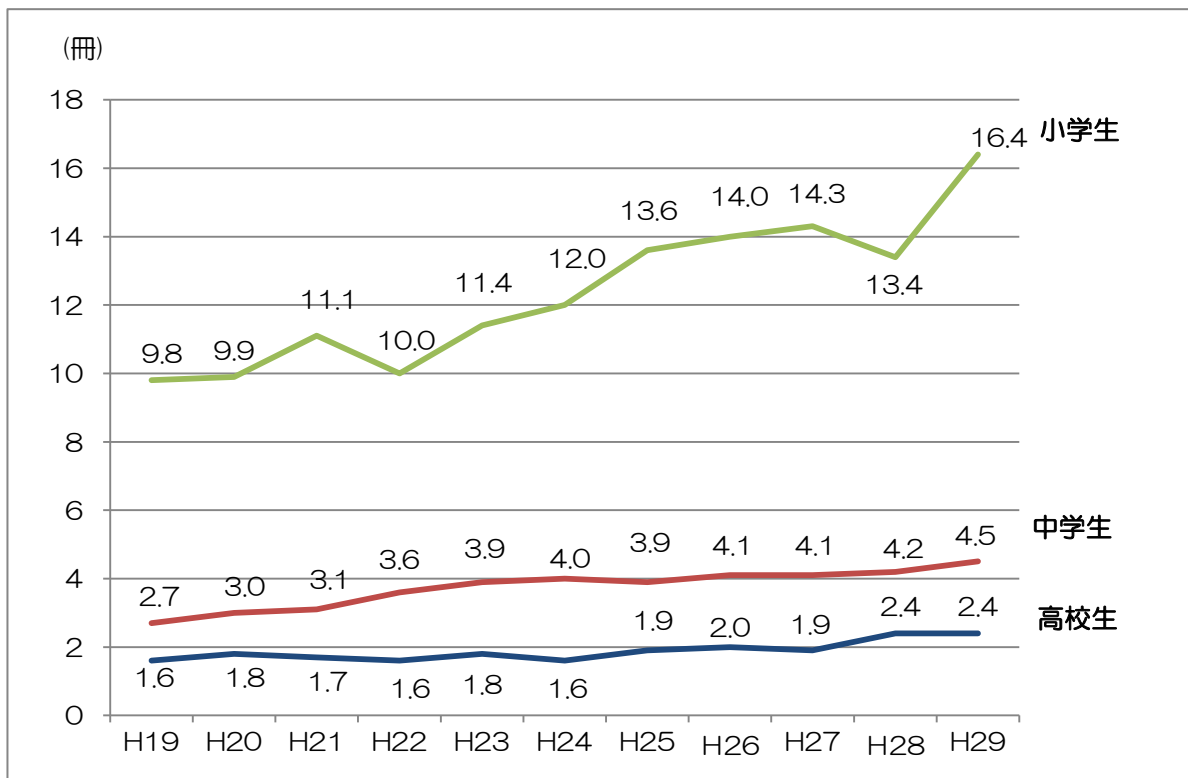
○調査対象児童生徒：県内各公立小・中・義務教育学校・高等学校から1学級を抽出  
 ※小(5年)6,067名、中(2年)3,877名、高(2年)2,057名

○学校質問調査：学校内外の個人や団体と連携した読書推進活動や環境整備について

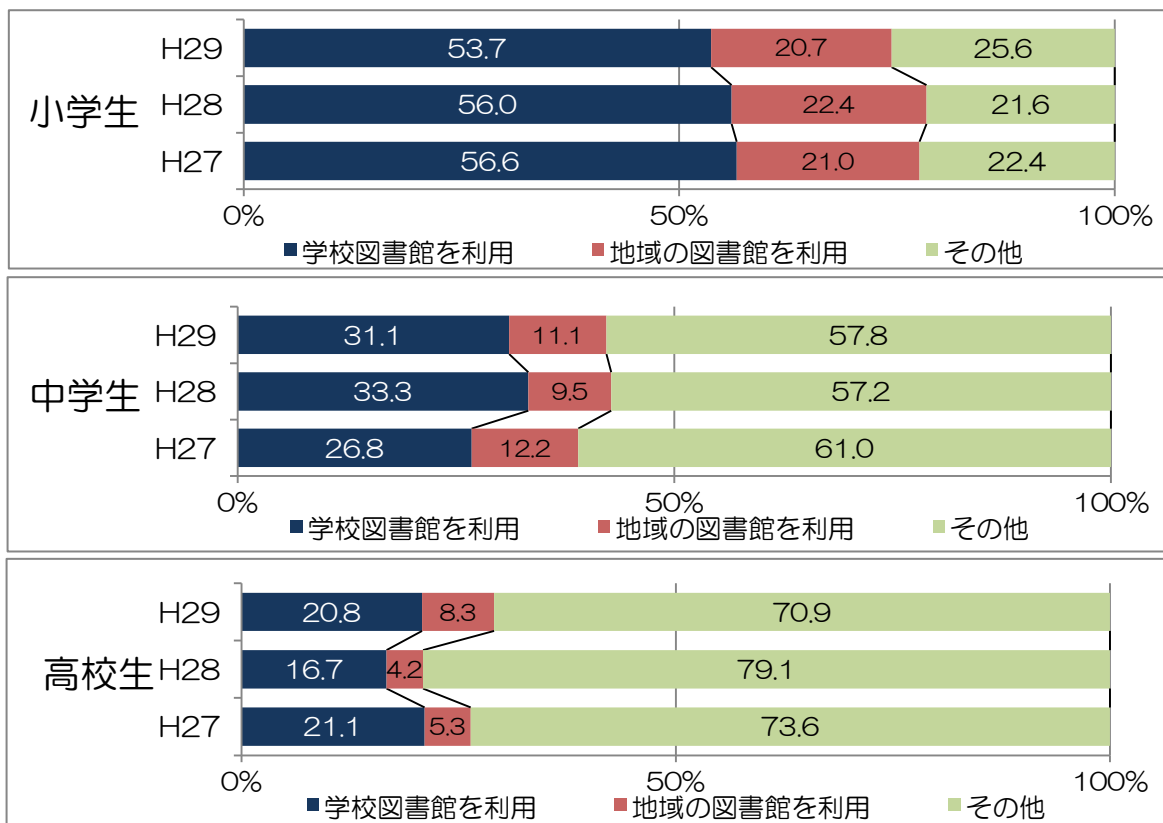
1 1ヶ月の平均読書冊数



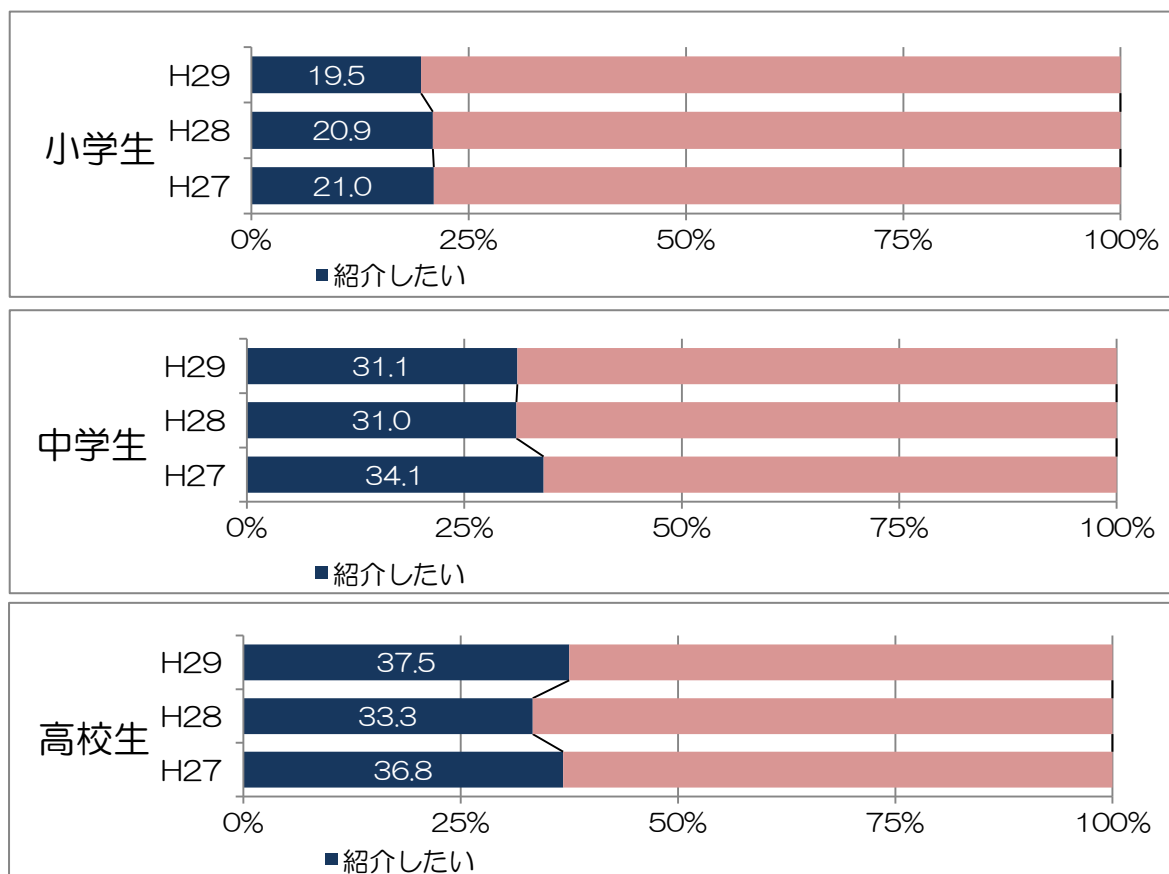
※ 1ヶ月の平均読書冊数の経年変化  
 (年度による上下はあるものの、概ね堅調な増加傾向にあります。)



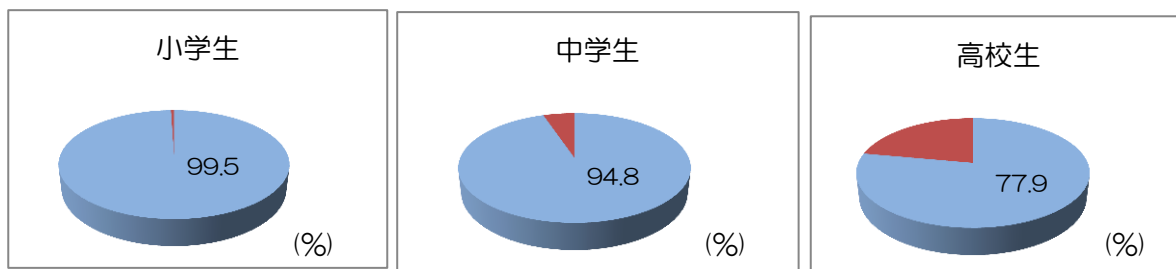
2 1ヶ月で読んだ本の内訳  
 (学校種が上がるにつれ、図書館資料以外の読書が増加する傾向にあります。)



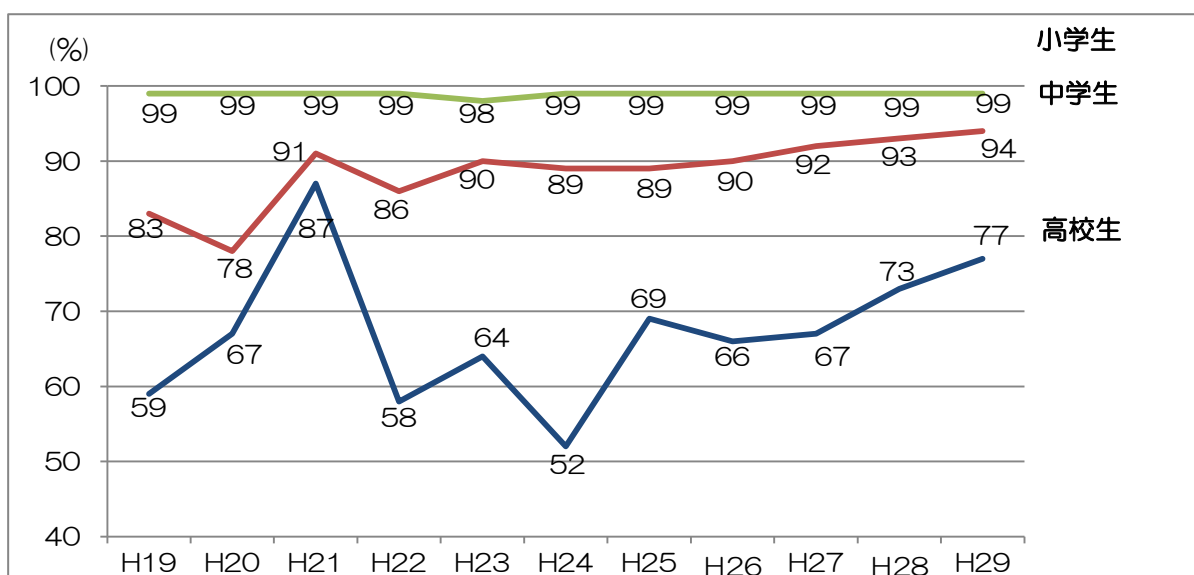
3 1ヶ月で読んだ本のうち、友達や家族にも紹介したいと思った本  
 (学校種が上がるにつれ、「紹介したい」と思う割合が増加する傾向にあります。)



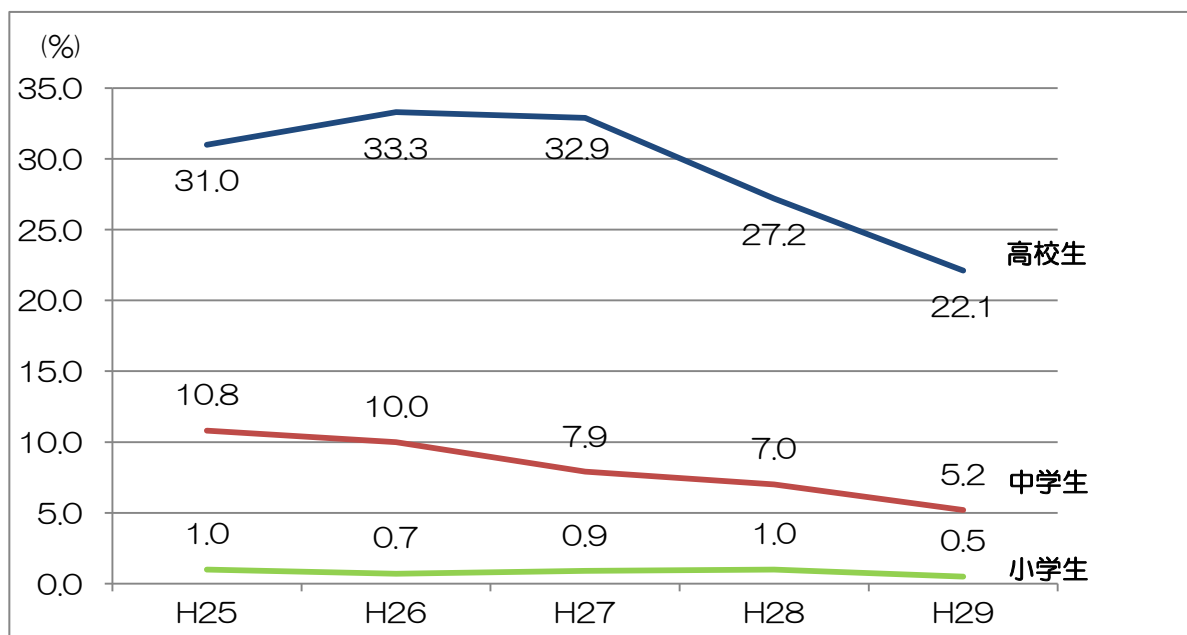
4 1ヶ月で1冊以上本を読んだ児童生徒  
 (4分の3以上の高校生は、1か月に1冊以上本を読んでいます。)



※ 1ヶ月で1冊以上本を読んだ児童生徒割合の経年変化  
 (年度によっては大きな変化がみられる部分はあるものの、中高生についてはおおむね増加傾向にあります。)



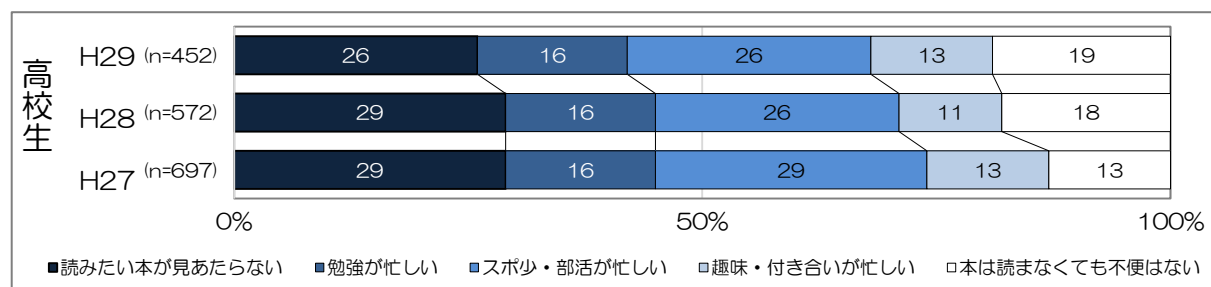
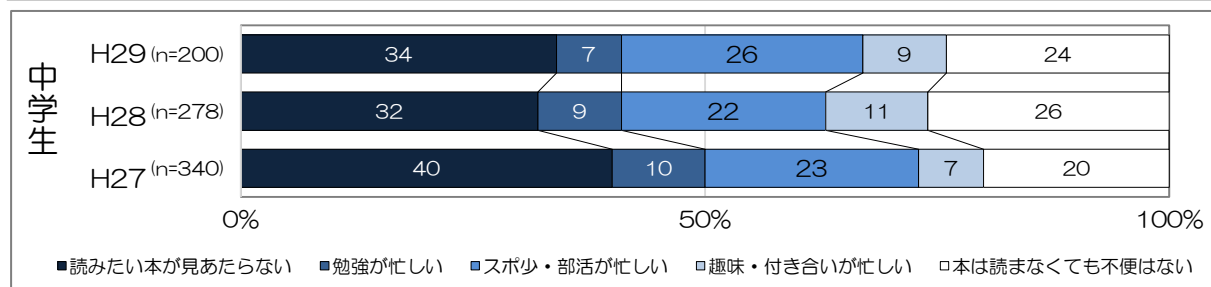
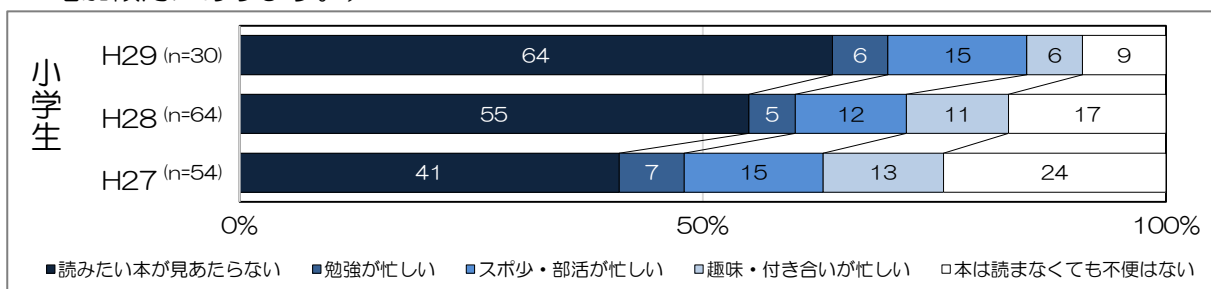
※ 不読者（1ヶ月で1冊も本を読まなかった児童生徒）の割合の経年変化  
 (中高生の不読者率は、減少傾向にあります。)



※H25年度より県内全公立小中高等学校対象調査開始

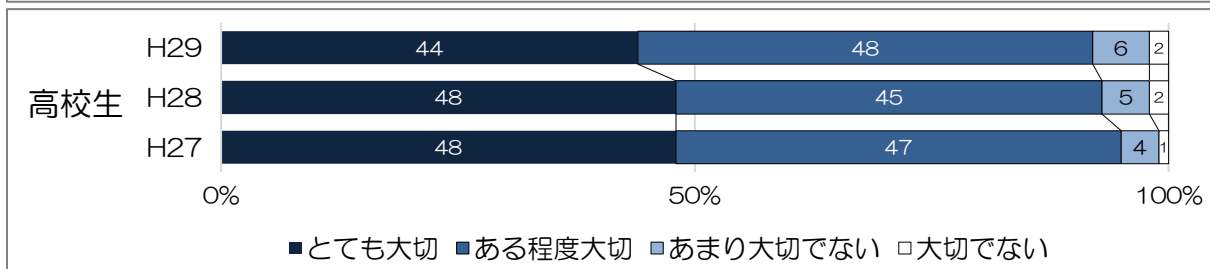
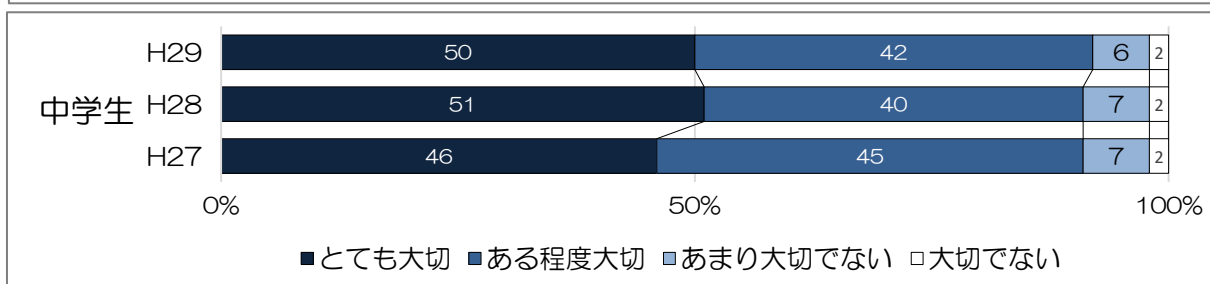
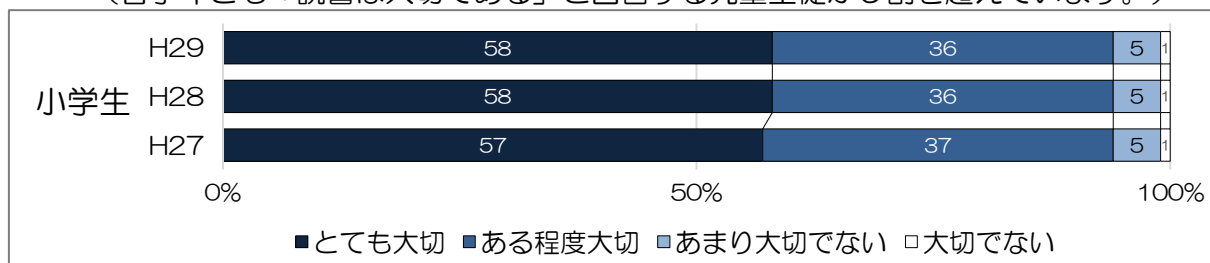
5 1ヶ月で1冊も本を読まなかった（不読の）理由

（学校種が上がるにつれ、「勉強や部活動が忙しい」ことを理由に挙げる児童生徒の割合が増加傾向にあります。）



6 「読書」に対する意識

（各学年とも「読書は大切である」と回答する児童生徒が9割を超えています。）



7 学校内外の団体や個人等と連携した読書推進活動や環境整備を行っている学校の割合  
 (ボランティアや公立図書館と連携した読書活動・環境整備が見られます。)

